

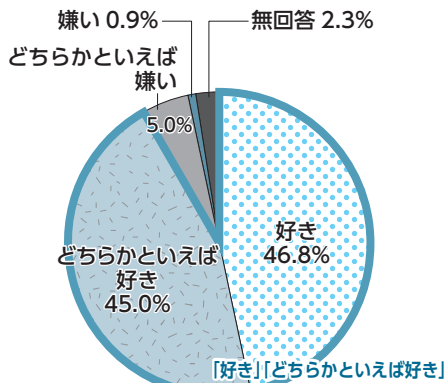
「宇都宮を好き」な人が**91.8%**

世論調査の結果が出ました

世論調査は、市民の皆さんの意見・希望を把握し、今後の施策に役立てるために、毎年実施しているものです。その結果の一部をお知らせします。調査に当たり、多くの皆さんにご協力いただきありがとうございました。

☎ 広報広聴課 ☎ (632)2022

Q 宇都宮市を好きですか。

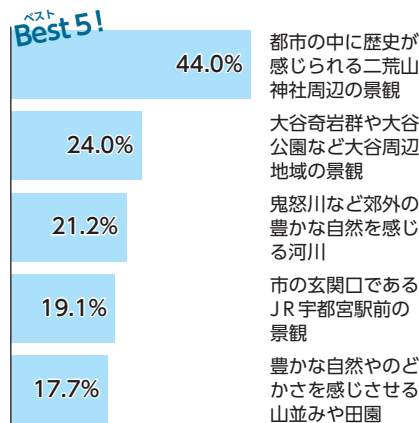


宇都宮大学教授
中村祐司's eye
(※1)

9割強が宇都宮市を好きと回答し、「好き」が「どちらかといえば好き」を上回っています。他都市と比べても「好き」の割合が高いと推測され、大いに誇っていい結果ではないでしょうか。

「好き」の割合を伸ばすための原動力には、職員一人ひとりが宇都宮市に対する愛着をどれだけ保ち続けられるかにも掛かっているのではないのでしょうか。

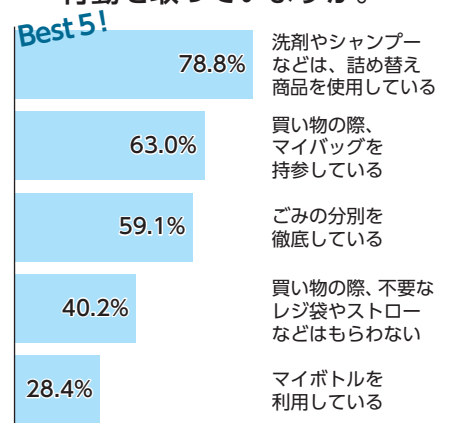
Q 愛着や誇りを感じる「宇都宮らしい」景観は何ですか。



「都市の中に歴史が感じられる二荒山神社周辺の景観」がトップで、中心部の景観が評価に直結しているのが分かります。

ただ、大谷周辺地域の景観や鬼怒川などの自然を感じる河川が2割強で、JR宇都宮駅前の景観を上回りました。郊外の特有の観光資源や自然が景観意識と結び付いています。

Q 使い捨てプラスチックの削減のため、環境に配慮した行動を取っていますか。



使い捨てプラスチックの削減のために実施していることについて、詰め替え商品を使用したり、買い物にはマイバッグを持参したりと、市民の間にプラ削減の意識とその実践が浸透しつつあるのが分かります。

皆さんのちょっとした心掛けがプラ削減につながります。

広報うつのみやにもご意見をいただきました

今後の作成の際に参考にさせていただきます。ありがとうございました。

- いただいた意見（一部抜粋）
- ▼対象年齢を絞り込んだ情報を盛り込んでもらいたい。

- ▼相談窓口、情報カレンダー、役に立っています。
- ▼子どもが雨でも遊べる場所の特集や、楽しい公園などの情報が知りたいです。
- ▼いろいろな記事が載っていて、よくできていると思います。毎月、表紙も楽しみです。
- ▼子育て、高齢者以外の世代にも目を向けてほしい。

世論調査の結果はWEBからご覧ください

☎ 1022207



■世論調査の方法

- ▼対象 18歳～79歳の市民4,800人。
- ▼調査方法 郵送など。
- ▼調査項目 17項目。
- ▼調査期間 令和元年8月2～23日。
- ▼有効回答数(率) 2,439人(50.8%)。

※集計の合計は、四捨五入や複数回答により100%にならない場合があります。

※世論調査の結果は、行政情報センター(市役所1階)でも見ることができます。

※1 調査結果については、中村祐司さん(宇都宮大学教授)にご協力いただき、専門的・客観的な立場から、各テーマについて、考察していただきました。



大切な人のこころのSOSに気付いたら 勇気を出して声かけを

問 保健予防課
☎ (626) 1114

本市の自殺者数は、平成10年以降100人前後で推移していましたが、平成21年の144人をピークに、平成29年には81人となっています。自殺者数の減少はみられますが、およそ5日に1人が自ら命を絶っている状況です。3月は自殺対策強化月間です。自殺対策について、できることから考えてみませんか。

■自殺に至る背景 自殺は「追い込まれた末の死」といわれ、その背景には、こころの健康問題だけでなく、体の健康問題、経済・生活問題、人間関係の問題などが複雑に関係しています。自殺を防ぎ、生きることを支えるためには、専門機関の支援に加え、家族や友人、職場など身近な場所での信頼できる人たちの存在が重要で、地域社会で生活する皆さんが一丸となって自殺対策に取り組むことが必要となります。

■自殺に追い込まれようとしている人を支えるための「ゲートキーパー(門番)」 自分の周りにいる悩みを抱えている人に気付き、声を掛け、話を聴き、思いに寄り添い、必要に応じて相談機関につなぎ、見守る人をゲートキーパーといいます。地域社会で生活している一人ひとりが、ゲートキーパーの意識を持つことは、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向けた大切な取り組みの一つです。

チェック/

☑ 気付いてほしい 「こころのSOSのサイン」

- | | |
|-------------------|----------------|
| ■自分で気付く変化 | ■周囲の人が気付きやすい変化 |
| □気分が沈む、憂うつ | □感情の変化が激しくなった |
| □イライラする、怒りっぽい | □表情が暗くなった |
| □気持ちが落ち着かない | □一人になりたがる |
| □胸がどきどきする、息苦しい | □不満、トラブルが増えた |
| □食欲がない | □遅刻や休みが増えた |
| □なかなか寝付けない、熟睡できない | □ミスや忘れ物が多い |

＼ 独りで悩まないでください！ 相談先や講座など

- こころの健康に関する相談
- ▼相談先 保健予防課(竹林町) ☎(626) 1114。
- ▼日時 月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分。
- 自殺予防相談 毎日24時間
- ▼相談先 栃木いのちの電話 ☎(643) 7830。
- 自殺対策強化月間パネル展
- ▼期間・会場 3月2～16日=中央図書館、3月23～27日=市役所1階市民ホール。
- こころの健康づくり講座(統合失調症について)
- ▼日時 3月12日(木)午後2時～。
- ▼会場 総合コミュニティセンター(明保野町)。
- ▼定員 先着100人。

特集



独りじゃない 悩みを抱え込まず 「ふらっぷ」に相談してみませんか

問 青少年自立支援センター「ふらっぷ」
☎(633) 3715

3月は、新しい生活への不安など、悩みを抱えやすい時期です。青少年自立支援センター「ふらっぷ」では、市内在住か通勤通学する、おおむね15～39歳までの青少年を対象にさまざまな相談を受けています。

■専門知識や経験がある相談員が計画的に支援 「ふらっぷ」では、専門の知識や豊富な経験がある相談員が、相談者の抱える問題を一緒に考え、解決に向けていきます(右のイラスト参照)。

＼電話だけでも、匿名でも大丈夫/ まずはお電話ください

▼相談先 ふらっぷ(中央1丁目・中央(☎)4階) ☎(633) 3715。

▼日時 月～金曜日、午前9時～午後5時(祝休日・年末年始を除く)。

▼面接相談、訪問相談(要予約) 電話で、ふらっぷへ。

■ご家族からの相談

ご本人が来なくても大丈夫です。最初にご家族からの相談がほとんどです。ご希望に応じて、自宅に訪問もします。



STEP 1
まずは相談員が丁寧に話を聞き今後について一緒に考えます。
優しいから何でも話せちゃう

STEP 2
経験豊富な相談員
同じ悩みを持っている人との交流(簡単な作業や市イベントのボランティア参加など)もあります。
ひとりじゃないんだ

STEP 3
元気になってきたら、次のステップについて一緒に考えます。
一緒に考えよう!

STEP 4
目標に向かって全力でサポートします!
元気出たー!!